



いのち
支える

～「だれも自殺に追い込まれることのない東御市」へ向けて～

東御市自殺対策計画（進捗状況）

資料 6

東御市
健康推進課

1 計画期間 2020年（令和2年）度～2024年（令和6年）度までの5か年

2 計画の目標

自殺者数	計画期間中の各年とも自殺死亡ゼロ		
自殺死亡率	直近3年の平均が国、県の目標値以下		
(人口10万人当 り自殺死亡率)		現状値	目標値
	東御市	17.4 (2016～2018年)	13.0以下 (2022～2024年)
	長野県	15.9 (2017年)	13.6以下 (2022年)
	国	16.5 (2017年)	13.0以下 (2026年)

R6実績
4

R6実績
13.7
16.8
16.1

3 施策体系

《基本施策》	《重点施策》
◇地域におけるネットワークの強化 ◇自殺対策を支える人材の育成 ◇住民への啓発と周知 ◇住民への啓発と周知 ◇生きることの促進要因への支援 ◇未成年者の自殺対策の強化 (全市町村共通の基盤的取組み)	◆勤務問題対策 ◆生活困窮者、無職者、失業者対策 ◆高齢者対策 ◆自殺未遂者等ハイリスク者対策 (市の実態を踏まえた重点的取組み)

↑ 抜粋

↑ 抜粋

＜関連施策＞既に行われている様々な事業で自殺対策と連携して推進する取組み

4 基本施策

項目	内容	指標	目標
(1) 地域におけるネットワークの強化	関係機関、団体等が密接に関わり合う体制の構築、強化	実務者会議の開催	3回以上
(2) 自殺対策を支える人材の育成	生きることの包括的支援に関わる幅広い人材の育成	ゲートキーパー育成講座修了者	累計243人
(3) 住民への啓発と周知	自殺対策の周知、自殺に対する誤った認識や偏見の是正、払拭	自殺予防週間、自殺対策強化月間を知っている人の割合	66%
(4) 様々な分野における「生きることの包括的な支援」の推進	妊娠婦、児童生徒、障がい者等の不安や悩みの軽減	子育てが楽しいと思える親の割合	94%以上
	適切な相談窓口の周知、自殺リスクの早期発見早期対応	専門職による相談会の開催	年36回
	市民の生きがいがづくり、自殺対策の担い手の心のケア	悩み、ストレスが大いにある人の割合	65%以下
(5) 未成年者の自殺対策の強化	命の大切さを実感できる教育、自立後もストレスを抱えた時に対応できる教育の実施	SOSの出し方教育をする中学校	2校
		悩みや困り事は「誰かに相談しよう」と思う生徒の割合	80%

策定時現状	実績
H30	R6
年3回	年2回
183人	242人
43.0%	51.7% (R4)
94.0%	95.3%
年36回	年48回
65.3%	67.3% (R4)
2校	2校
71.0%	

5 重点施策

項目	内容	指標	目標
(1) 勤務問題対策	働き盛り世代への各種相談窓口の周知、職域や各事業所へのメンタルヘルス対策の普及啓発	精神保健講演会	年1回以上
		過労死防止の啓発、相談窓口の周知	年1回以上
(2) 生活困窮者、無職者、失業者対策	生活困窮者自立支援制度や福祉制度に基づく経済面、生活面の支援 心の健康づくりや医療との連携など包括的な支援	生活困窮者自立支援調整会議	月1回以上
		自立支援相談のうち就労に結び付いた割合	30%以上
(3) 高齢者対策	住み慣れた地域で暮らし続けるための、個々の状態に応じた介護予防、生活支援等サービスの適切な提供	認知症相談件数	300件
		認知症サポーター等養成	累計2,085人
(4) 自殺未遂者等ハイリスク者対策	関係機関連携による見守り等適切な支援の提供	いきいきサロン参加者	延べ5,450人
		実務者会議の開催	3回以上

策定時現状	実績
H30	R6
年1回	年1回
年1回	年1回
月1回	月1回
28.2%	42.2%
180件	179件
1,778人	2,855人
9,321人	7,742人
年3回	年2回

【参考】東御市の自殺者数

年	R2	R3	R4	R5	R6
自殺者数	5	4	5	5	4